

新県立大学について

平成 26 年 4 月 18 日

総務部 県立大学設立準備課

1 新県立大学の概要

別紙 「新県立大学基本構想の概要について」 のとおり

2 開学目標

平成 30 年 4 月

3 施設整備概要

(1) 校舎等

長野市三輪 8-49-7 (長野県短期大学敷地)

(2) 新学生寮・地域貢献型施設

長野市南長野 603 (長野市立後町小学校跡地 (長野市所有地))

区 分	施設面積 (㎡)	初期投資額 (億円)	備 考
校 舎 等	19,600	67	・現図書館、北棟は活用
学 生 寮	7,600	19	・現明和寮は活用 ・新学生寮は320人収容
委 託 料 等	-	11	・設計業務委託費、備品設備費等
合 計	27,200	97	

注：施設面積・初期投資額は、現時点での概算見込みであり、今後変動する可能性がある。

4 開学までのスケジュール (予定)

区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
教育課程編成・教員選考		[進捗バー]				新県立大学開学	
大学設置申請				設置申請	認可		
法人設立申請					設立申請		認可
施 設	プロポーザル、基本・実施設計等	[進捗バー]	[進捗バー]				
	校舎等建設工事			[進捗バー]			
整 備	新学生寮、地域貢献型施設建設工事			[進捗バー]			
	解体、外構		体育館			校舎等、外構	

注：現時点での予定であり、個別の内容については、今後変動する可能性がある。

5 平成 26 年度予算額

188,474千円 (設立準備委員会、大学設置調査業務、設計・調査等施設関連経費)
債務負担行為

83,909千円 (設計・調査等施設関連経費)

新県立大学基本構想の概要について

大学の理念

長野県や日本の文化・風土に根ざしながらグローバルな視野を持ち、持続可能な共生社会の形成を目指して、ビジネスや公共の分野でイノベーションを創出できる自立した人材を育成し、地域社会、国際社会に貢献する。

先人達が築き上げた教育県長野を再興、継承し、豊かな地域性と高度な専門性に基づいた知の拠点として、知の伝承と、新たな価値の創造を行う。

地域に開かれ、地域とともに歩む大学として、仕事や地域活動等を通じた自己実現を支援するため、年齢・性別に関わらず、生涯にわたり学習する機会を提供する。

教育の目標

○幅広い視野に基づき、多様性を尊重しながら様々な人と関係を築くことができるコミュニケーション力や、共同して成果を上げることのできるマネジメント力を持ち、主体的に考え行動する自立した人材を育成するとともに、ビジネスやNPOを自ら起業し地域に貢献できる人材、組織内で新たな取組に挑戦できる人材など、様々な場面でグローバルな視野を持ってイノベーションを創出し、地域のリーダーとなる人材を育成する

教育内容・方法

○多文化社会をやさしく、逞しく生きる力を育成

- ・教養教育の充実・・・体系的なカリキュラムに基づく、幅広い学問領域の履修
- ・1年次の原則全寮制・・・主体性・社会性等の涵養、留学生との交流、教育的機能
- ・実践的英語力の習得・・・英語集中プログラム、英語による授業の積極的導入
- ・全員が海外プログラム履修・・・実践的な対話力、国際感覚を養う(留学・海外インターンシップ等)

○主体的に課題解決する実践力の育成

- ・課題探求型授業の積極的導入・・・地域・企業・自治体と連携し地域課題を発見・解決
- ・実務家教員の活用・・・ビジネス・行政等の現場の第一線での経験者から学ぶ
- ・インターンシップの充実・・・企業・自治体等の協力を得て実効性を確保
- ・地域資源の活用・・・長野県の自然・歴史・文化を体験できる学習

○勉学の志を全うする仕組みの構築

- ・多様な力を評価する入学者選抜・・・潜在的な力の重視、高校推薦やTOEFL・TOEIC等の活用、入学時の県民枠設定
- ・履修成果を厳格に評価するシステムの構築・・・確かな実力の獲得、少人数教育
- ・秋入学の導入等の検討・・・海外からの留学生の受入れを促進
- ・将来を見通したキャリア開発支援・・・一貫した学習支援と就労支援
- ・奨学制度等の創設・・・経済的理由で就学が困難な学生や留学生を対象に検討

○社会人のキャリア開発のための学習支援

- ・多様な学習機会の提供・・・リカレント教育、公開講座、社会人入学の配慮、学習成果が社会で発揮できる仕組みの構築を検討

大学運営

○学長のリーダーシップが発揮できる運営体制

- ・公立大学法人による運営
- ・教授会の役割を、学長の教育・研究に関する諮問機関として明確化

○県内大学等との連携

- ・県内大学との単位互換制度の検討、大学間連携のコーディネート
- ・高校生の英語教育等の支援、県内高校と連携したキャリア支援

○サテライトキャンパス、サテライト・ラボ(仮称)等の検討

- ・地域との連携による、地域課題の解決・地域文化の学習拠点の検討

地域貢献

○グローバル社会における地域課題の解決

- ・海外の地域との共同プロジェクトなど地域課題解決を支援

○シンクタンク機能の発揮

- ・長野県のシンクタンク、調査研究・政策提言等のコーディネート

○再教育や起業家等の人材育成

- ・各種学習機会の提供、起業等を支援する体制の整備の検討

○地域の子育て支援

- ・保育士等の子育て従事者からの相談受付、各種講座の開催

学部構成

総合マネジメント学部 (定員160人)		健康発達学部 (定員80人)			
総合マネジメント学科		こども学科 (定員40人)	健康文化学科 (定員40人)		
グローバル ビジネスコース	公共経営コース		健康社会コース	食健康コース	
専門教育	<p>○ 幅広い教養と経営に関する知識、グローバルな視野を持ち、共同して成果を上げるためのマネジメント力を発揮し、世界市場を視野に入れて新たなビジネスを生み出すなど、地域の人と資源を生かして事業を展開できるビジネス・リーダーを育成</p>	<p>○ 住民、NPO、企業、行政等が参画する地域づくりをマネジメントし、グローバルな視野を持ちながら、地域課題を発見し、解決するための政策立案や公共的なサービスの担い手となることのできる地域社会のリーダーを育成</p>	<p>○ 幅広い教養と総合的人間観に基づき、幼児期の自発性の涵養、発達障害への対応など高度な専門性やグローバル社会に必要な教育方法を身につけ地域の子育て関係者の連携・協力関係を率先して築いていくことができる保育・幼児教育のリーダーを育成</p>	<p>○ 「健康文化」を構成する食、生活様式、人間関係、医療や福祉のシステム等についての社会的な視点からの総合的な理解と知見に基づき、「健康文化」を継承し発展させるとともに世界に向けて発信し、超高齢化社会に対応した健康な社会づくりをリードする人材を育成</p>	<p>○ 食や健康に関する専門的知識を持ち、「地域の食育」のリーダーとなるとともに、健康をつくる食を消費者に提供するため、国際的な食の安全管理に関する理解と知見を備え第一次産業から食卓にいたる一連の流れの中で、グローバルな視野でビジネス展開ができる人材を育成</p>
教養教育	(共通)				
	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">英語集中プログラム</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">幅広い教養科目</div> </div> <p style="margin-top: 10px;">(例) キャリア・デザイン、外国語、社会科学 人文・芸術、自然科学、学際研究 保健体育、情報科学、日本研究 信州学(歴史、食文化、地場産業等)</p>				

各種センター

言語教育センター	学生への言語教育・留学支援に加え、幼児教育から初等中等教育、社会人を含めての語学学習と、留学生や外国籍県民に対する学習を支援
キャリア開発支援センター	職業・社会活動を通じた社会との関わりについての、学生一人ひとりの将来ビジョンに基づく学習・就職支援を一貫して実施
生涯学習センター	リカレント教育や、企業・団体・起業者等の研修、高度な知的探究心に応える長期講座の開催など、社会人一人ひとりのキャリアに応じた学習の機会を広く提供
グローバルビジネス創出センター	企業・自治体、地域との共同プロジェクトの実施、産学官の連携による長野発のグローバルビジネスの創出及びインターンシッププログラムの実施、異なる立場の人が対話を通じてアイデアを創出して実現する仕組みづくりを実施

場 所

○現在の長野県短期大学所在地を基本に設置
一部の施設については、他の場所における設置も検討
基本構想策定後に施設等整備方針を決定

開学時期

○平成29年4月の開学を目標とするが、施設整備計画等を策定
する中で決定していく。

→ 開学目標 平成30年4月 (H26.2.7決定)